

世田谷区子どもセーフティ計画（交通安全バージョン）

～交通事故等の発生を未然に防ぎ、子どもの交通環境の安全性の向上を目指す道づくり～

株式会社建設技術研究所都市部 正会員 ○小原 裕博
 世田谷区土木事業担当部 正会員 山口 浩三
 世田谷区土木事業担当部 非会員 堺 恭一
 株式会社建設技術研究所都市部 非会員 田中 文夫

1. はじめに

近年、子どもを取り巻く事故等の発生を未然に防ぐことで、地域の交通環境の安全性を向上させることが重要な課題となっている。

世田谷区では、次代を担う子どもたちが、地域の中で安心してのびのびと遊び、学び、育つ地域環境を創造するために、「安心して歩くことができる」・「どこからも見守ることができる」・「子どもの目線にたった」道路づくりを目標とした「子どもセーフティ計画～交通安全バージョン～（以下、子どもセーフティ計画）」を策定し、交通事故等の発生を未然に防ぎ、子どもの交通環境の安全性の向上を目指している。

本研究では平成18年度に策定した子どもセーフティ計画における交通安全対策について概要を紹介するとともに、交通環境の安全性向上効果を示す。

2. 子どもセーフティ計画の内容とねらい

(1) 子どもセーフティ計画の理念と定義

子どもセーフティ計画は、「①子どもを中心とした歩行者の移動安全性の向上・意識の啓発を図る、②通学路を中心とした世田谷区内の道路を対象とする、③地元住民・交通管理者の要望を十分に反映する、④整備効果を十分に検証・展開することにより、円滑な事業推進を図る」という4点で定義される。

(2) 子どもセーフティ計画の事業内容

計画では、子どもの交通環境の安全性の向上を図るため、2つの事業が位置づけられている。

① 緊急対策事業

外側線や交差点内をカラー舗装し注意喚起を促すなど簡易な対策による交通安全対策で、区内小学校、児童館等の施設周辺 98 箇所を実施。

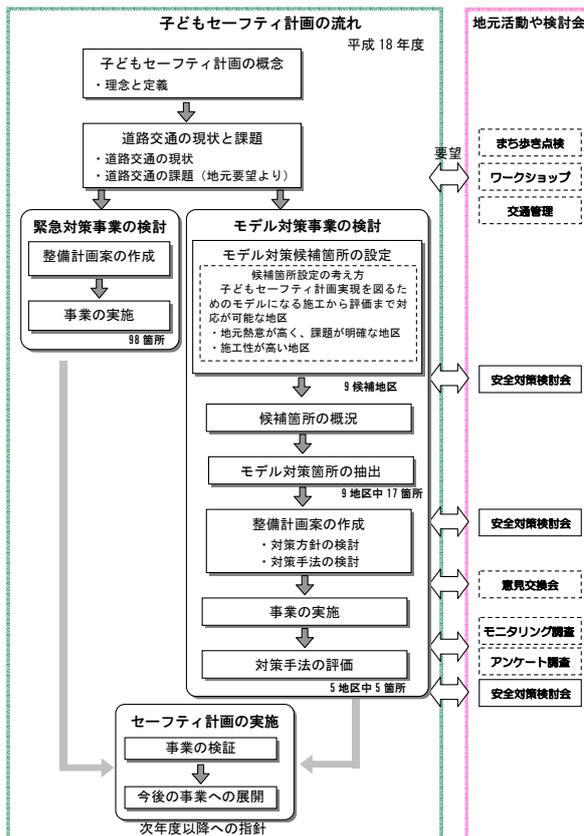


図1 世田谷区子どもセーフティ計画の概要

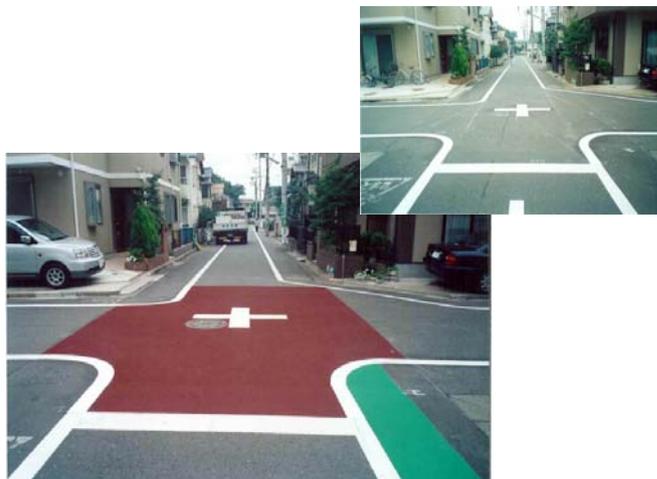


図2 緊急対策事業の例（事前・事後）

キーワード 交通安全、モデル対策、子ども、交通事故、施設の設計、整備、効果計測、評価

連絡先 〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27 TEL03-5432-2367

② モデル対策事業

モデル対策事業は、今後の交通安全対策整備の指針となる対策評価を目的に、小学校、児童館など子ども施設を中心とした施設周辺で、地域の交通課題に応じた対策を検討し、実現可能性の高い施策について整備したうえで評価を行った。対象地区および対策については、地域の住民やPTAの要望等を参考に、交通管理者、道路管理者による検討会において選定した。

評価調査は、年度内に工事が完了した7地区11整備箇所を対象とし、安全対策の対象である子どもや親へのアンケート調査等の意向調査、ビデオによる整備前後の車両や歩行者の交通行動の変化などを検証した。



図3 モデル対策事業の例（歩行空間の確保、外側線内着色による歩行空間の明示化）

3. モデル対策事業の交通環境の改善効果

アンケートによる評価では、危険だと感じていた課題箇所が事業を実施した結果以前より安全になったという評価が多く、「ポールが設置されて安心して歩ける」、「歩く場所が分かりやすくなった」（児童）、「車が歩道の中に入ってくることはなくなった」、「少しでも歩道を歩くという意識が持てるようになった」（保護者）といった意見が出るなど、交通環境の改善が確認できた。（なお、自動車交通量の変化やヒヤリハットの減少に関しては、一部箇所では交通量の減少もあったが明確な変化は把握できなかった。）

4. まとめと今後の展望

世田谷区の子どもセーフティ計画では、子どもを取り巻く交通環境の安全性の向上を講じ、一定の効果が確認できた。危険要因に合致した方策であれば、カラー舗装等の比較的容易な対策でも安全性の向上が期待できること、物理的な施策と組み合わせることで安全性が向上することが分かった。一方、カラー舗装等の認知度を高める広報に努めたり、継続的な運転マナー向上の取り組み、ドライバーの慣れによる効果の低減の有無の検証など、ハード面の整備とあわせて効果を持続するための取り組みが課題である。引き続き小学校周辺及び保育園等の未就学児施設周辺の道路で交通安全施設整備に取り組んでいる。

【謝辞】

本研究を進めるにあたり所轄警察署および警視庁交通規制課のみなさま、教育委員会、各小学校区の校外委員のみなさまには大変お世話になりました。ここに厚く御礼申し上げます。

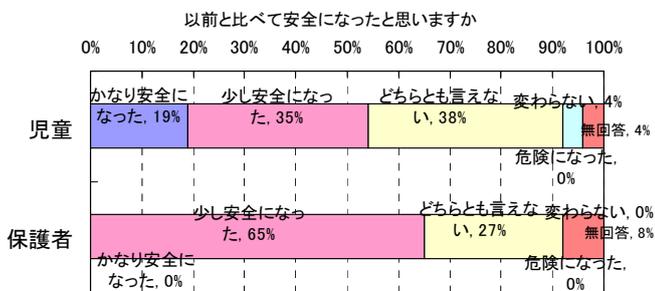


図4 アンケート結果例（一部抜粋）

表1 導入したモデル対策事業と評価方法の例（一部抜粋）

地区名	課題箇所	対策方針案	対策手法	評価項目
三軒茶屋小 周辺	三軒茶屋北 交差点 (弦巻通り)	たまり空間の確保 (安全な歩行空間の確保) 車道の狭小化 (速度抑制)	●すみ切り部の改良 ●すみ切り部内のカラー舗装（緑） ●外側線の設置 ●車止めの設置 ●ガードパイプの改修 ●外側線内のカラー舗装（緑） ●歩道空間の拡幅（ガードパイプ位置の変更）	安全意識の向上
				ヒヤリハットの軽減
				子どもの車道はみ出し軽減
				交通量・速度の低下
池之上小 周辺	池之上小 北側道路	歩車共存 (ドライバーの注意喚起・ 速度抑制)	●車道のカラー舗装（緑） ●交差点内のカラー舗装（赤） ●交差点マークの設置 ●自発光紙の設置	安全意識の向上
				ヒヤリハットの軽減
				交通量・速度の低下
				ヒヤリハットの軽減
森の児童館 周辺	森の児童館前 道路	歩車分離 (安全な歩行空間の確保)	●路側帯内のカラー舗装（緑） ●横断部手前のカラー舗装（赤） ●ガードパイプの設置 ●止まれマークの設置	安全意識の向上
				ヒヤリハットの軽減
				子どもの車道はみ出し軽減
				交通量・速度の低下
				路駐の軽減